

1. 化学品及び会社情報

製品識別子

CB番号 : CB5686823

CAS : 89059-37-0

物質または混合物の関連する特定された用途、および推奨されない用途

関連する特定用途 : 研究開発用途にのみ使用。医薬品、家庭用品、その他の用途には使用しないでください。

推奨されない用途 : なし

会社ID

会社名 : Chemicalbook

住所 : 北京市海淀区上地十街匯煌国際1号棟

電話 : 400-158-6606

2. 危険有害性の要約

2.1 GHS分類

2.2 注意書きも含む GHSラベル要素

専門的な使用者に限定。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 化学物質

化学特性(示性式、構造式

等) : 652

分子量 : 129.01 g/mol

CAS番号 : 89059-37-0

化審法官報公示番号 : -

安衛法官報公示番号 : -

4. 応急措置

4.1 必要な応急手当

一般的アドバイス

医師に相談する。この安全データシートを担当医に見せる。

吸入した場合

吸い込んだ場合、新鮮な空気の場所に移す。呼吸していない場合には、人工呼吸を施す。医師に相談する。

皮膚に付着した場合

石けんと多量の水で洗い流す。直ちに被災者を病院に連れて行く。医師に相談する。

眼に入った場合

多量の水で15分以上よく洗浄し、医師の診察を受けること。

飲み込んだ場合

無理に吐かせないこと。意識がない場合、口から絶対に何も与えないこと。口を水ですすぐ。医師に相談する。

4.2 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

もっとも重要な既知の徴候と症状は、ラベル表示(項目2.2を参照)および/または項目11に記載されている

4.3 緊急治療及び必要とされる特別処置の指示

データなし

5. 火災時の措置

5.1 消火剤

適切な消火剤

水噴霧、耐アルコール泡消火剤、粉末消火剤、二酸化炭素を使用すること。

5.2 特有の危険有害性

窒素酸化物(NOx)

可燃性。

炭素酸化物

5.3 消防士へのアドバイス

消火活動時には必要に応じて自給式呼吸装置を装着する。

5.4 詳細情報

未開封の容器を冷却するために水を噴霧する。

6. 漏出時の措置

6.1 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

呼吸保護(服)を着用。蒸気、ミスト、またはガスの呼吸を避ける。十分な換気を確保する。付近の発火源となるものを取り除く。安全な場所に避難する。蒸気がたまと爆発性濃縮物が生成されるので要注意。蒸気は低いところにたまる可能性あり。個人保護については項目8を参照する。

6.2 環境に対する注意事項

安全を確認してから、もれやこぼれを止める。物質が排水施設に流れ込まないようにする。環境への放出は必ず避けなければならない。

6.3 封じ込め及び浄化の方法及び機材

漏出物を閉じ込め、防爆型の電気掃除機または湿ったブラシにより集め、地域の規則(項目13を参照)に従い廃棄するために容器に移す。廃棄に備え適切な容器に入れて蓋をしておく。

6.4 参照すべき他の項目

廃棄はセクション13を参照。

7. 取扱い及び保管上の注意

7.1 安全な取扱いのための予防措置

安全取扱注意事項

皮膚や眼への接触を避けること。蒸気やミストの吸い込みを避けること。

火災及び爆発の予防

発火源から離しておいてください—禁煙。静電気の蓄積を防止する手段を講じる。

衛生対策

皮膚、眼、そして衣服との接触を避ける。休憩前や製品取扱い直後には手を洗う。注意事項は項目2.2を参照。

7.2 配合禁忌等を踏まえた保管条件

保管クラス

保管クラス(ドイツ)(TRGS 510): 6.1B: 不燃性、急性毒性カテゴリー1および2 / 猛毒性危険物

保管条件

冷所に保管。容器を密閉し、乾燥した換気の良い場所に保管する。一度開けた容器は注意深く再度密封し、漏れを避けるためまっすぐ立てておく。不活性ガス下に貯蔵する。吸湿性あり

7.3 特定の最終用途

項目1.2に記載されている用途以外には、その他の特定の用途が定められていない

8. ばく露防止及び保護措置

8.1 管理濃度

コンポーネント別作業環境測定パラメータ

8.2 曝露防止

適切な技術的管理

皮膚、眼、そして衣服との接触を避ける。休憩前や製品取扱い直後には手を洗う。

保護具

眼 / 顔面の保護

顔面シールドおよび保護メガネ NIOSH (US) または EN 166 (EU) などの適切な政府機関の規格で試験され、認められた眼の保護具を使用する。

皮膚及び身体の保護具

手袋を着用して取扱う。使用前に、必ず手袋を検査する。(手袋外面に触れずに)適切に手袋を脱ぎ、本製品の皮膚への付着を避ける。適用法令およびGLPに従い、使用後に汚染手袋を廃

棄する。手を洗い、乾燥させる。

選ばれた防護手袋は、EU指令2016/425の仕様と、それから派生する規格EN374を満たすものでなければならない。

フルコンタクト

材質: ブチルゴム

最小厚: 0.3 mm

破過時間: 480 min

試験物質: Butoject® (KCL 897 / Aldrich Z677647, Size M)

飛沫への接触

材質: 天然ラテックス/クロロプレン

最小厚: 0.6 mm

破過時間: 30 min

試験物質: Lapren® (KCL 706 / Aldrich Z677558, Size M)

データソース: KCL GmbH, D-36124 Eichenzell, 電話 +49 (0)6659 87300, e-mail sales@kcl.de,

試験方法: EN374

EN374とは違った条件の下で、溶液の中、または他の物質と混ぜて使われる場合は、EC認可手袋の供給業者に問い合わせる。この勧告は単なる助言であり、予想される用途の特定状況に精通した産業衛生専門家並びに安全管理者により評価されなければならない。任意の使用方法について許可を受けていると理解すべきではない。

身体のプロテクト

化学防護服、特定の作業場に存在する危険物質の濃度および量に応じて、保護装置のタイプを選択しなければならない。

呼吸用保護具

リスクアセスメントによりろ過式呼吸用保護具が適切であると示されている場所では、工学的制御のバックアップとして、多目的直結式 (US) またはABEK型 (EN14387) 呼吸用保護具カートリッジ付き全面形呼吸用保護具を使用する。呼吸用保護具が唯一の保護手段である場合、全面形送気マスクを使用する。NIOSH (US) またはCEN (EU) などの適切な政府機関の規格で試験され、認められた呼吸用保護具および部品を使用する。

環境暴露の制御

安全を確認してから、もれやこぼれを止める。物質が排水施設に流れ込まないようにする。環境への放出は必ず避けなければならない。

9. 物理的及び化学的性質

Information on basic physicochemical properties

外観	形状: 液体
臭い	データなし
臭いのしきい(閾)値	データなし
pH	8.0 - 8.5 at 1 grm/l at 20 °C
融点 / 凝固点	融点/ 範囲: 5 - 6 °C
沸点, 初留点及び沸騰範囲	210 - 211 °C - lit.
引火点	88 °C - 密閉式引火点試験
蒸発速度	データなし

可燃性（固体、気体）	データなし
引火上限/下限または爆	爆発範囲の上限: 40 %(V)
発限界	爆発範囲の下限: 1.8 %(V)
蒸気圧	0.2 mmHg at 20 °C 50 mmHg at 120 °C
蒸気密度	データなし
密度	1.253 gPcm3 at 25 °C
比重	データなし
水溶性	データなし
n-オクタノール / 水分配係数 (log 値)	データなし
自然発火温度	482 °C
分解温度	データなし
粘度	動粘度 (動粘性率): データなし 粘度(粘性率): データなし
爆発特性	データなし
酸化特性	データなし
データなし	

9.2 その他の安全情報

データなし

10. 安定性及び反応性

10.1 反応性

データなし

10.2 化学的安定性

推奨保管条件下では安定。

10.3 危険有害反応可能性

データなし

10.4 避けるべき条件

熱、炎、火花。

10.5 混触危険物質

強酸化剤, 強還元剤, 強塩基類

10.6 危険有害な分解生成物

火災の場合: 項目5を参照

11. 有害性情報

11.1 毒性情報

急性毒性

急性毒性推定値:経口- 100.1 mg/kg

備考: 感覚器および特殊感覚（鼻、眼、耳、味覚）：眼：流涙

行動：振戦

チアノーゼ

値は以下の物質と同様に得られる。ニトロベンゼン

LD50 経皮 - ウサギ - 760 mg/kg

備考: 値は以下の物質と同様に得られる。ニトロベンゼン

LC50 吸入 - ラット - 4 h - 2.8 mg/l

(専門家の判断)

皮膚腐食性 / 刺激性

備考: 眼に対する重篤な損傷性 / 眼刺激性

結果: 眼への刺激なし

備考: 値は以下の物質と同様に得られる。ニトロベンゼン

皮膚 - ウサギ

眼 - ウサギ

結果: 皮膚刺激なし - 24 h

呼吸器感作性又は皮膚感作性

(OECD 試験ガイドライン 429)

備考: 値は以下の物質と同様に得られる。ニトロベンゼン

結果: 動物実験では感作性なし。

- マウス

生殖細胞変異原性

方法: OECD 試験ガイドライン 482

試験タイプ: 小核試験

投与経路: 腹腔内

方法: OECD 試験ガイドライン 474

結果: 陰性

備考: 値は以下の物質と同様に得られる。ニトロベンゼン

種: マウス

備考

結果: 陰性

テストシステム: ラット肝細胞

試験タイプ: 不定期DNA合成試験

発がん性

データなし

生殖毒性

想定される人間の生殖への毒性

データなし

特定標的臓器毒性（反復ばく露）

吸入 - 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害。 - 血液

備考: 値は以下の物質と同様に得られる。ニトロベンゼン

特定標的臓器毒性（単回ばく露）

誤えん有害性

データなし

11.2 追加情報

反復投与毒性 - ラット - オスおよびメス - 経口 - 28 d - 最小毒性レベル - 5 mg/kg

体内への吸収により、十分な濃度のときにチアノーゼをおこすメトヘモグロビンの形成を引きおこす。

症状の発現は2~4時間またはそれ以上遅れる可能性がある。、アルコールへの暴露および/またはアルコールの服用は、有毒な作用を増大させる可能性がある。、吐き気、頭痛、嘔吐、化学的、物理的および毒性的性質の研究は不十分と考えられる。

備考: 値は以下の物質と同様に得られる。ニトロベンゼン

反復投与毒性 - ラット - オスおよびメス - 吸入 - 14 d

備考: 値は以下の物質と同様に得られる。ニトロベンゼン

12. 環境影響情報

12.1 生態毒性

魚毒性

流水式試験 LC50 - Danio rerio (ゼブラフィッシュ) - 92 mg/l - 96.0 h

(OECD 試験ガイドライン 203)

備考: 値は以下の物質と同様に得られる。ニトロベンゼン

ミジンコ等の水生無脊

止水式試験 EC50 - Daphnia magna (オオミジンコ) - 35 mg/l - 48 h

椎動物に対する毒性

備考: 値は以下の物質と同様に得られる。ニトロベンゼン

藻類に対する毒性

成長抑制 EC50 - Chlorella pyrenoidosa - 18 mg/l - 96 h

(OECD 試験ガイドライン 201)

備考: 値は以下の物質と同様に得られる。ニトロベンゼン

12.2 残留性・分解性

データなし

12.3 生体蓄積性

データなし

12.4 土壌中の移動性

データなし

12.5 PBT および vPvB の評価結果

化学物質安全性評価が必要ではない/行っていないため、PBT/vPvB評価データはない。

13. 廃棄上の注意

13.1 廃棄物処理方法

製品

このような可燃性の物質は、アフターバーナーとスクラバーが備えられた化学焼却炉で焼却しても差し支えないと考えられる。免許を有する廃棄物処理業者に、余剰物で再使用不可の溶液として処理を依頼する。汚染容器及び包装製品入り容器と同様に処分する。

14. 輸送上の注意

14.1 国連番号

ADR/RID (陸上規制): 1662 IMDG (海上規制): 1662 IATA-DGR (航空規制): 1662

14.2 国連輸送名

IATA-DGR (航空規制): Nitrobenzene

IMDG (海上規制): NITROBENZENE

ADR/RID (陸上規制): NITROBENZENE

14.3 輸送危険有害性クラス

ADR/RID (陸上規制): 6.1 IMDG (海上規制): 6.1 IATA-DGR (航空規制): 6.1

14.4 容器等級

ADR/RID (陸上規制): II IMDG (海上規制): II IATA-DGR (航空規制): II

14.5 環境危険有害性

ADR/RID: 該当 IMDG 海洋汚染物質(該当・非該当): IATA-DGR (航空規制): 非該当

該当

14.6 特別の安全対策

なし

14.7 混触危険物質

強酸化剤, 強還元剤, 強塩基類

15. 適用法令

16. その他の情報

略語と頭字語

ADR: 道路による危険物の国際輸送に関する欧州協定

CAS: ケミカルアブストラクトサービス

EC50: 有効濃度 50%

IATA: 国際航空運送協会

IMDG: 国際海上危険物

LC50: 致死濃度 50%

LD50: 致死量 50%

RID: 鉄道による危険物の国際運送に関する規則

STEL: 短期暴露限度

TWA: 時間加重平均

参考文献

- 【1】労働安全衛生法 ウェブサイト <https://www.mhlw.go.jp>
- 【2】化学物質審査規制法（化審法）<https://www.env.go.jp>
- 【3】化学物質排出把握管理促進法（PRTR法）<https://www.chemicoco.env.go.jp>
- 【4】NITE化学物質総合情報提供システム（NITE-CHRIP）<https://www.nite.go.jp/>
- 【5】カメオケミカルズ公式サイト <http://cameochemicals.noaa.gov/search/simple>
- 【6】ChemIDplus、ウェブサイト <http://chem.sis.nlm.nih.gov/chemidplus/chemidlite.jsp>
- 【7】ECHA - 欧州化学物質庁、ウェブサイト <https://echa.europa.eu/>
- 【8】eChemPortal - OECD 化学物質情報グローバルポータル、ウェブサイト <http://www.echemportal.org/echemportal/index?>
<http://www.echemportal.org/echemportal/index?>
pageID=0&request_locale=en
- 【9】ERG - 米国運輸省による緊急対応ガイドブック、ウェブサイト <http://www.phmsa.dot.gov/hazmat/library/erg>
- 【10】有害物質に関するドイツ GESTIS データベース、ウェブサイト <http://www.dguv.de/ifa/gestis/gestis-stoffdatenbank/index-2.jsp>
- 【11】HSDB - 有害物質データバンク、ウェブサイト <https://toxnet.nlm.nih.gov/newtoxnet/hsdb.htm>
- 【12】IARC - 国際がん研究機関、ウェブサイト <http://www.iarc.fr/>
- 【13】IPCS - The International Chemical Safety Cards (ICSC)、ウェブサイト <http://www.ilo.org/dyn/icsc/showcard.home>
- 【14】Sigma-Aldrich、ウェブサイト <https://www.sigmaaldrich.com/>

免責事項:

本MSDS中の情報は指定された製品にのみ適用され、特に規定がない限り、本製品とその他の物質の混合物には適用されません。本MSDSは、製品使用者の適切な専門的なトレーニングを受けた者にのみ製品安全情報を提供します。本MSDSの使用者は、本MSDSの適用性について独自に判断しなければならない。本MSDSの著者は、本MSDSの使用によるいかなる傷害にも責任を負わない。